**学校安全年間計画の内容（みやぎ学校安全基本指針より一部改編）**

１　幼稚園　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（幼―１学期）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　　月項目 | **４月** | **５月** | **６月** | **７月・８月** |
|
| 安全にかかわる記念日・行事 | ・春の交通安全運動 | 　 | ・みやぎ県民防災の日 | ・全国安全週間(1)・夏の交通事故防止運動・青少年の非行被害防止強　調月間 |
| 月の重点 | 安全に登降園しよう | 安全な園生活をしよう | 梅雨時に安全な生活をしよう | 水の事故に気を付けよう |
| ね　ら　い | ○きまりを守り，安全な登降園ができるようになる○通園バスの乗降に気を付ける | ○遊びや生活の約束を守り，安全に遊んだり，生活したりする | ○地震の時の安全な避難の仕方ができるようになる　○雨天時の室内での安全な生活を身に付ける | ○水遊びのきまりや約束を守り，安全に生活する |
| 安　　全　　教　　育 | 生活安全 | ○園内の安全な生活の仕方○登降園の仕方○遊び場，遊具の使い方※新しい遊具や用具，場所の使い方○小動物のかかわり方○子ども110番の家の意味と必要性 | ○園内の安全な生活の仕方○生活や遊びの中で必要　な道具や用具の使い方（いす，はさみ，箸，玩具等）○小動物の世話の仕方○集団で行動する時の約束・一人で行動しない○園外保育での約束・並ぶ，間隔空けない等 | ○雨の日の安全な生活の仕方・雨具の使いかた，始末の仕方・廊下，室内では走らない○不審者の対応(帰宅後）・知らない人にはついていかない「いかのおすし」の約束を知る | ○夏季休業中の生活について安全で楽しい過ごし方・花火の遊び方・外出時の約束・１人で遊ばない○水遊びのきまりや約束　・準備運動・プールでの約束 |
| 交通安全 | ○安全な登降園の仕方・初歩的な交通安全の約束○通園バスの安全な乗り方（走行中）・立ち歩かない・シートベルトをする○通園バスの安全な乗降・保護者への引き渡し | ○道路の安全な歩き方・標識，標示（止まれ等）　の意味・安全確認（左右を見る）○園外保育での安全な歩き方・保護者と手をつなぐ・道路の右端を歩く・横断時は手をあげる | ○雨の日の安全な歩行の仕方・傘の持ち方 | ○交通安全に関する約束を再確認・飛び出し・道路では遊ばない・自転車に乗るときの約束（保護者と一緒）・横断時の左右確認 |
| 災害安全 | ○避難（防災）訓練の意味や必要性○避難の仕方・避難訓練の合図（サイレン，放送等）・｢おはしも」の約束・防災頭巾のかぶり方 | 〈火災：サイレン，放送で伝達〉○放送・教職員の指示を聞き，避難する○はんかちを口，鼻にあてて避難する○消防署の指導による煙体験（姿勢を低く保つ） | 〈地震：サイレン，放送で伝達〉○[大地震が起きたときの](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E5%9C%B0%E9%9C%87%E7%99%BA%E7%94%9F%E6%99%82%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C)[避難の仕方](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E5%9C%B0%E9%9C%87%E7%99%BA%E7%94%9F%E6%99%82%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C)・机の下に潜る・避難時は靴を履く○園庭にて保護者への引き渡し訓練（保護者は徒歩） | ○[津波の危険について](k-keikaku.docx#地震発生時の津波)・津波とは何か・高い所に大人と一緒に避難する○[落雷，局地的大雨につい](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E8%90%BD%E9%9B%B7%E3%81%AE%E8%A2%AB%E5%AE%B3%E3%81%AB%E5%82%99%E3%81%88%E3%81%A6)[て](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E8%90%BD%E9%9B%B7%E3%81%AE%E8%A2%AB%E5%AE%B3%E3%81%AB%E5%82%99%E3%81%88%E3%81%A6)・園庭で遊んでいた時・自宅周辺で遊んでいた時 |
| 主な園行事 | ・入園式，始業式・定期健康診断 | ・園外保育（遠足） | ・運動会・避難訓練（地震） | ・プール開き・終業式，始業式・夏季休業日 |

（幼―２学期）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　　月項目 | **９月** | **１０月** | **１１月** | **１２月** |
|
| 安全にかかわる記念日・行事 | ・防災週間・国民防災の日(1)・秋の交通安全運動　（県民総ぐるみ運動） | ・安全・安心なまちづくりの日・全国地域安全運動 | ・全国火災予防運動・津波防災の日 | ・年末年始の交通事故防止運動 |
| 月の重点 | けがをしないように運動しよう | 乗り物の乗り降りに気を付けよう | 災害に備えた生活をしよう | 安全な冬の生活をしよう |
| ね　ら　い | ○ルールを守り，友人と楽しく遊んだり，運動したりする | ○安全を確認して，通園バスや乗用車の乗降をする | ○火災のとき，安全に避難できるようになる | ○室内での遊びや生活のルールを守り，安全に生活する |
| 安　　全　　教　　育 | 生活安全 | ○生活のリズムを整え，楽しく安全な生活・登降園時の約束・遊具，用具，玩具の安全な使い方○戸外で体を十分動かして遊ぶ○園外保育での約束・並ぶ，間隔空けない等 | ○様々な遊具の安全な使い方，遊び方・ボール（ける，投げる）・縄跳びの縄の扱い○集団で行動するときの約束・教職員の指示を聞き，自分から気を付ける○不審者侵入時の訓練・避難経路の確認（複数）・事前，事後指導（不安，動揺を軽減） | ○様々な遊具や用具の安全な使い方，片付け方○集団で行動するときの約束・教職員の指示を聞き，自分から気を付ける | ○進んで体を動かし，安全で活発な行動・室内にこもらず，戸外で活動する○危険につながる服装（マフラー等）○暖房機の危険性，安全に関する約束 |
| 交通安全 | ○園外保育での安全な歩き方・保護者と手をつなぐ・道路の右端を歩く・横断時は手をあげる | ○信号の正しい見方・適切な行動・点滅しているときの判断○警察の指導による交通　安全・安全な登降園・道路の渡り方・自転車の乗り降りの仕方 | ○交通ルールを自分から気を付け，守る・自分の耳と目で確かめる習慣○電車の乗り降り，車中の安全○子どもの路上歩行訓練・園の周りの道路を子どもだけで歩く | ○雪道の安全な歩き方・走らない・ポケットに手を入れない・危険な場所は歩かない○様々状況，場面での交通ルール・道路の横断・駐車している自動車の前後の横断・点滅信号時の行動 |
| 災害安全 | 〈津波(沿岸部)：サイレン，放送で伝達〉○地域と連携した津波避難訓練・避難経路，避難場所の確認 | ○火災の危険について・火遊びの危険・煙の怖さ | 〈火災：肉声で通報〉○[「火事だ」の声による通](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E7%81%AB%E7%81%BD%E7%99%BA%E7%94%9F%E6%99%82%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C)[知，速やかな避難訓練](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E7%81%AB%E7%81%BD%E7%99%BA%E7%94%9F%E6%99%82%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C)・周囲の状況，そばにいる教職員の指示・第二次避難場所までの避難○消防署からの指導・火災の怖さ，火事発見時の適切な行動 | 〈津波(沿岸部)：サイレン，放送で伝達〉○地域と連携した津波避難訓練・避難経路，避難場所の確認 |
| 主な園行事 | ・園外保育（遠足）・プール納め・地域合同防災訓練 | ・学習発表会・交通安全教室・不審者対応訓練 | ・演劇鑑賞会・避難訓練（火災） | ・地域合同防災訓練・終業式・冬季休業日 |

　　　　　　　　　　　　　（幼―３学期）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　　　　月項目 | **１月** | **２月** | **３月** |
|
| 安全にかかわる記念日・行事 | ・国民防災とボランティア週間 | 　 | ・春季全国火災予防運動 |
| 月の重点 | 災害から身を守ろう | 交通ルール・標識を守ろう | 安全な生活ができるようにしよう |
| ね　ら　い | ○訓練火災において，指示に従い安全に行動ができるようになる | ○雪道での安全な歩き方ができるようになる | ○身の回りの安全について，自ら気付き，判断できるようになる |
| 安　　全　　教　　育 | 生活安全 | ○雪の日の安全な遊び方，身支度の仕方○進んで体を動かし，安全で活発な行動○暖房機の危険性，安全に関する約束○雪屋根，つららに気を付ける | ○自分の身の回りの安全に自ら気付き，判断し行動する | ○春休みの安全な過ごし方○異年齢の交流場面での安全に関する自主的な約束の確認 |
| 交通安全 | ○様々な状況で，場面で自分で判断する・自分の耳と目で確かめる習慣・交通量が多い道路での歩行，横断 | ○交通ルール，標識を守って行動する・各種標識を覚える・ルールを学ぶ | ○交通安全のために，自分で判断して行動する・自分の耳と目で確かめる習慣 |
| 災害安全 | 〈地震，火災：サイレン，放送で伝達〉○第三次避難場所へ避難・防災頭巾をかぶっての安全な歩行・雪中での避難方法と避難場所の確認 | 〈火災：予測なし〉○周囲の状況，そばにいる教職員の指示 | 〈地震・火災：予測なし〉○[大きな揺れが続いているとき](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E5%9C%B0%E9%9C%87%E7%99%BA%E7%94%9F%E6%99%82%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C)[の自分の身の守り方](k-keikaku.docx%22%20%5Cl%20%22%E5%9C%B0%E9%9C%87%E7%99%BA%E7%94%9F%E6%99%82%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C)・机の下に潜る・机の脚をしっかり持つ○[緊急地震速報について](k-keikaku.docx#地震発生時の対応)・緊急音を知る |
| 主な園行事 | ・始業式 |  | ・お別れ会・卒園式，終了式 |

≪火災発生時の対応≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）　火災発生時の対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 火災が発生したときの初期消火の仕方を知る。 | 2) | 火事を見つけたときは大声で「火事だ」と叫ぶ。 | ○　 | 行 |  |
| ④ | 火災が発生したときの避難の仕方の基本について身に付ける。 | 6) | 学校や人がたくさん集まる場所で火災に遭遇したときの避難の仕方「お・は・し・も」を知る。(おさない，はしらない，しゃべらない，もどらない） | ○　 | 行 |
| ⑥ | 火災において，一酸化炭素や有毒ガスが発生した場合，非常に危険であることを知り，避難に活かす。 | 6) | 避難の時は体勢を低くして，口や鼻をハンカチやタオルで覆う。 | ○　 | 行 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（２）火災予防の事前対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 　　　指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 火災予防に対する社会の取組について知り，自分ができることを考え実行する。 | 6) | 宮城県には幼年消防クラブ，少年消防クラブが組織され，平成24年5月1日付けで440団体33,094人が所属している。 | →　 | 行 |  |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

≪地震災害時の安全≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）地震発生時の対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 緊急地震速報を見聞きしてから，また，突然揺れを感じてから，揺れがおさまるまで適切に行動する。 | 1) | 周囲を確認し，あわてずに，まず身の安全を確保する。 | ○ | 行 | ・[地震　その時](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)[10のポイント](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)　　(東京消防庁) |
| 2) | 頭を保護し，丈夫な机の下など安全な場所に避難する。 | ○ | 行 |
| 6) | 屋外では，落石や崖崩れ，ブロック塀の倒壊や看板やガラスの落下に注意する。 | ○　 | 行 |
| ② | 揺れがおさまった後，余震に注意して適切に行動する。 | 3) | 倒れそうになっている家具や落ちかけた照明などには近づかない。 | ○ | 行 |
| 4) | ブロック塀や門柱には近づかない。 | ○ | 行 |
| ③ | 地震により，火災や津波，土砂崩れ，土石流及び液状化が発生することを知り，適切に行動する。 | 5) | 津波が来るかもしれないので海岸や河川には近づかない。 | ○ | 行 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| **（２）地震の大きな揺れの後の知識** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 　地震の大きな揺れにより，斜面などが普段より脆弱になっていることを知る。 | 1) | 少しの雨でも土砂災害が起こることがある。 | ○ | 行 |  |
| 2) | 崖などに亀裂が入ることがある。 | ○ | 行 |
| ② | 地震の大きな揺れにより，堤防などの施設が損傷することがある。 | 1) | 堤防などの施設が損傷することがある。 | ○ | 行 |
| 2) | これまでより少ない雨量で堤防などが損傷し，洪水となることがある。 | ○ | 行 |
| 3) | 排水施設の損傷により，これまでより少ない雨で浸水することがある。 | ○ | 行 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（４）地震に対する備え** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 自分が普段いる場所をいくつか上げ，そこで地震の揺れが来た時を想像してみる。そこから普段からやっておかなければならない備えについて知り，災害に備える。 | 6) | 屋外では，落石や崖崩れ，ブロック塀の倒壊や看板やガラスの落下に注意する。 | ○ | 教・行 |  |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

≪津波災害時の安全≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）地震発生時の津波対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 地震が発生した場合，すぐに津波を考える。 | 1) | 地震が発生したときは，最初はどこが震源かが分からないので，すぐに津波のことを考えなければならない。 | ○ | 教・行 | ・[地震　その時](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)[10のポイント](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)　(東京消防庁) |
| 2) | 津波から避難する時は，遠くではなく，高いところに避難する。例えば，海の近くにいる場合は，近くの高台や建物等が流される恐れがあるため，高くて頑丈な建物に避難する。 | ○ | 教・行 |
| ② | 海岸で大きな揺れを感じたときや，弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは，津波の襲来を予測して，直ちに海岸から避難する。 | 1) | 津波が地震直後に襲ってくることもあるので，いち早く避難行動をとる。 | ○ | 教・行 |
|  |
| **（２）津波に関する知識** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 津波と波浪の違いから，津波のエネルギーの大きさと被害が大きくなることを知る。 | 3) | 津波は，30cmの高さでも被害が生じ，幼児や児童は流されることがある。 | ○ | 教・行 | ・[津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html)(気象庁) |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

≪風水害による被害≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（６）大雪に備えて** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 大雪により発生する危険について知る。 | 5) | 道路に雪が積もっている時は，タイヤが滑り，車が止まりにくい。 | ○ | 教・行 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（７）落雷の被害に備えて** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 雷により死傷事故が発生していることを知る。 | 1) | 雷は危険である。 | ○ | 教・行 | ・[落雷から身を守るには](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/toppuu/thunder4-3.html)(気象庁)・[リ－フレット](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)[「竜巻・雷・強い雨－ナウキャストの利用と防災－」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)(気象庁)・[雷とは](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/toppuu/thunder1-0.html)(気象庁) |
| ② | 雷が落ちやすい危険な場所や条件があることを知る。 | 2) | 遠くの方で雷が聞こえていても，頭の上に雷雲がある時は，自分に落雷する可能性がある。 | ○ | 教・行 |
| 3) | 傘には落雷しやすいので使わない。 | ○ | 教・行 |
| 4) | 大きな木には落雷しやすいので避難しない。 | ○ | 教・行 |
| ③ | 雷からの避難に適切な場所を知る。　 | 1) | 外にいて雷鳴が少しでも聞こえたら安全な建物等に避難する。 | ○ | 教・行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

≪災害に備える≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）避難訓練の実施等** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 避難訓練に真剣に取り組むことの重要性を知り，危険を予測して回避する力を身に付ける。 | 1) | なぜ避難訓練をするか，理解する。 | ○　 | 教・行 |  |
| 2) | 避難訓練では，実際の災害を想定し，真剣に取り組まなければならない。 | ○　 | 教・行 |
| 3) | 避難訓練は，一度に多くの人々が行動するので，ふざけたりすると危険である。 | ○　 | 教・行 |
| 4) | 避難訓練では，先生の指示どおり的確に行動する。 | ○ | 教・行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例